

今は走っていないけど いつかはサーキットを



川上哲司クン BNR32

「以前は海岸やストリートゼロヨンを走っていたけど、今は忙しくてゼンゼン走っていません」というのが、32に乗る川上クンだ。エンジンのオーバーホールついでにN1ピストンを組み、タービンはHKSのTO4Rを使用。カムにはHKSの264度 (IN/EX) を入れ、570psを発揮している。足にはビルシュタインの車高調を入れていて、いつかはサーキットを走りたいと考えているらしい。



SPECIFICATIONS

エンジン本体：RB26DETT/N1ピストン/HKS・ガスケット (1.2mm)・カム (IN264/OUT264) タービン：TO4R/HKS・EVC・GTウエストゲート 吸排気系：HKS・エキマニ・パワーフロー/S次元マフラー/ブリッツ・インタークーラー 燃料系：NISMO・メインインジェクター (555ccX6) /アベックス・燃料ポンプ/TOMEI・フェーデルリバーリ 点火系：NGK・レーシングプラグ8番 駆動系：OS・ツイン タイヤ：ダンロップ・W10(F:245/45-17 R:245/45-17) ホイール：BBS・LM (F:17X9J R:17X9J) 内装：HKS・ブースト・油温・油圧・水温・排気温/レカロ・SR-1 データ等：最大ブースト1.5kg/cm²/最高出力570ps

浜川和宣クン BNR32

ストリートゼロヨンがメインというのが32Rの乗る浜川クン。GT-Rに乗って6年くらいというカレは、たま〜に海岸に出発することもあるという。どうして過去形なのかというと、最近ですっかり仕事が忙しくなり、クルマに乗る機会が減ってしまったらしい。そんなカレの32Rは「人と違うタービンにしてほしい」というワガママに、トライアルが応え、KKKのK27.2をツインで装着している。ピストンにはHKSのステップIIを使い、コンロッドやカムも交換し、パワー的には750ps〜800psほど出ているそうだ。



タービンはKKKのK27.2を使用。



人とは違う仕様で Rを仕上げる



SPECIFICATIONS

エンジン本体：RB26DETT/HKS・ステップIIピストン・H断面コンロッド・カム (IN272/OUT272) ・バルブスプリング/アベックス・ガスケット/オリジナル燃料室加工 タービン：KKK・K27.2 (X2) 吸排気系：JUN・GTサージタンク/ヴェルサイド・エキマニ/インフィニティ904スロットル/アベックス・GTスベックインタークーラー/Z32エアフロ/HKS・パワーフロー 冷却系：HKS・オイルクーラー/真鍮ラジエーター 燃料系：ブリッツ・メインインジェクター (720ccX6) /ボッシュ・燃料ポンプ (X2) /TOMEI・フェーデルリバーリ 点火系：NGK・レーシングプラグ 駆動系：OS・トリプルクラッチ/ルート6・クロスギア/クスコ・LSD タイヤ：ファルケンGR-β(F:255/40-17 R:255/40-17) ホイール：トライフォース・ゼルダ (F:17X9J R:17X9J) サスペンション：クワンタム・ドラッグSPL+スワフトスプリング ブレーキ：トライフォース・パッド/N1ローター/アールズ・ブレーキホース 内装：TOMEI・ブースト・排気温・空燃比・油温・油圧/レカロ・SR-II

新作ホイールを履いた トライアル34R



トライアル BNR34 V-spec N1

最後に登場していただくのはトライアルのデモカーである34Rだ。このクルマはガスケット&カム交換しており、N1タービンを使用。サーキットがターゲットで、セントラルを1分26秒、TIを1分50秒前半で走るだけのポテンシャルを秘めている。そして、最もアピールしたいのが、トライアルの新作ホイールを履いている点。このホイールは見た目のデザインもさることながら、総性能にも優れているもので、スポーク先端部分のフラップ部分はホイールが回転することにより、冷却効果を上げることに成功している。



イチオシは谷本サンが指さしている新作ホイールの「トライフォース・ゼルダマグナム」。興味のある人はトライアルまで。

SPECIFICATIONS

エンジン本体：RB26DETT/アベックス・ガスケット (1.1mm) タービン：N1 (X2) /アベックス・AVG-D 吸排気系：トライフォース・バズーカマフラー/アベックス・ハイブリッドインタークーラー/HKS・パワーフロー 冷却系：アルミラジエーター 燃料系：NISMOメインインジェクター (600ccX6) /アベックス・燃料ポンプ 点火系：NGK・レーシングプラグ10番 駆動系：NISMO・Gマックストリプルクラッチ タイヤ：ファルケン・アゼニス(F:245/40-18 R:245/40-18) ホイール：トライフォース・ゼルダマグナム (F:18X10J R:18X10J) サスペンション：クワンタム・トライアルバージョンサーキットスペック+ノバスプリング ブレーキ：トライフォースパッド/プロム・ローター/アールズ・ブレーキホース 内装：レカロ・SP-Aレザー データ等：最大ブースト1.5kg/cm²/最高出力600ps

前田英樹クン BNR32

トライアルの広報担当をしているお馴染みの前田サンも32Rのオーナー。このクルマはストリートゼロヨンをターゲットに作られており、ガスケットとカムの交換、タービンはT51Rを使い、ブースト1.7キロで750psを絞り出している。今年の目標は腰下ノーマルでの限界へ挑戦ということで、当面の目標はブースト2キロに挑戦することだそう。ちなみに、以前はフルチューンしたRB26DETTが搭載されていて、9秒台を目標にしていたけど、あえなくブローしてしまっていたのだ。



室内にはキレたメーターがインストールされている。コックピットは仕上げたそう。

腰下ノーマルの限界に 挑戦予定



SPECIFICATIONS

エンジン本体：RB26DETT/アベックスガスケット・カム (IN270/OUT270) タービン：T51R Kai 吸排気系：HKSエキマニ・パワーフロー/アベックス・GTスベックインタークーラー/Z32エアフロ 冷却系：アールズ・オイルクーラー 燃料系：ブリッツ・メインインジェクター (1000ccX6) /ボッシュ・燃料ポンプ 点火系：NGK・レーシングプラグ9番 駆動系：HKS・トリプルクラッチ・6速ミッション タイヤ：ADVAN・A032R(F:245/45-17 R:245/45-17) ホイール：トライフォース・ゼルダ (F:17X9J R:17X9J) サスペンション：クワンタム・ドラッグSPL+スワフト・スプリング ブレーキ：トライフォース・パッド 内装：NEKO・A/F/HKS・排気温 データ等：最大ブースト1.7kg/cm²/最高出力750ps